

新型コロナウイルス感染症に関する緊急アンケート実施

半数がマスクはコロナ予防に「有効」と認識、2割以上がオンライン診療・処方「望む」

健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業を行う株式会社 QLife（キューライフ／本社：東京都港区、代表取締役：有瀬和徳）は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の報告が世界的に続く中、QLife 会員を対象に、コロナについての緊急アンケートを実施した。調査結果の概要は、以下の通り。

【調査結果の概要】

○調査概要

実施責任者：株式会社 QLife

調査目的：コロナに関する国民の知識・理解や、コロナが流行している中で医療に期待することなどについての実態を探る

調査対象：QLife 会員

調査実施日：2020年3月16日

調査方法：Web アンケート調査

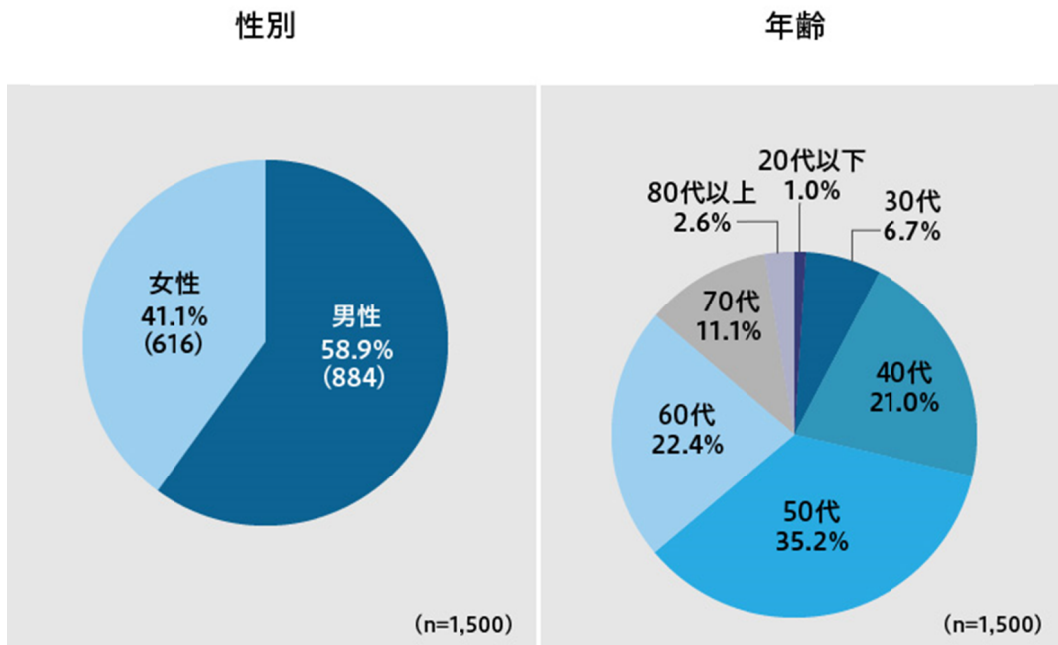
○結果概要

有効回答数：1,500

<回答者の属性>

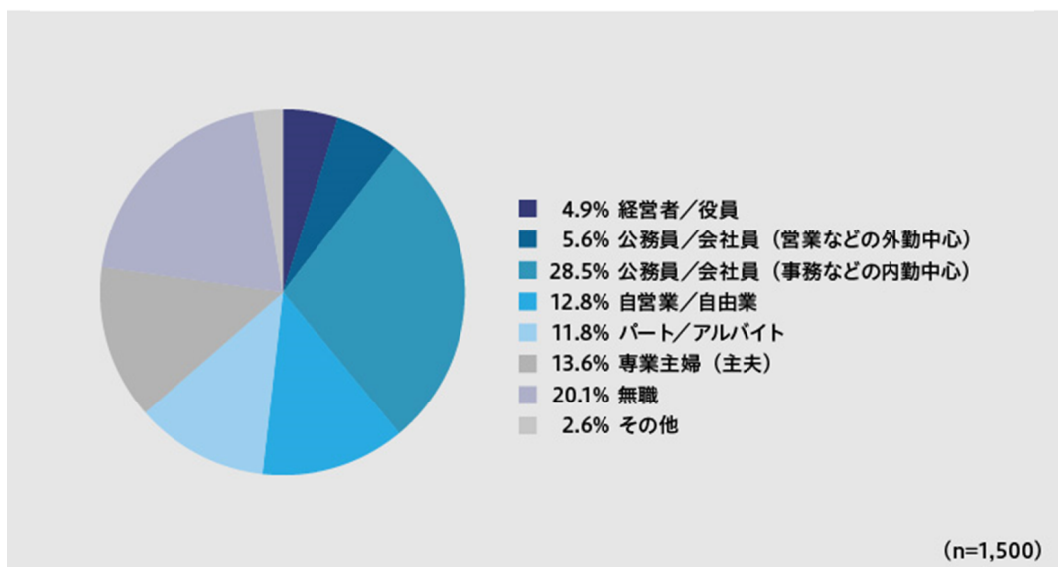
性別：男性 58.9% (884)、女性 41.1% (616)

年代：50代 (35.2%)、60代 (22.4%)、40代 (21.0%) の順に多かった。



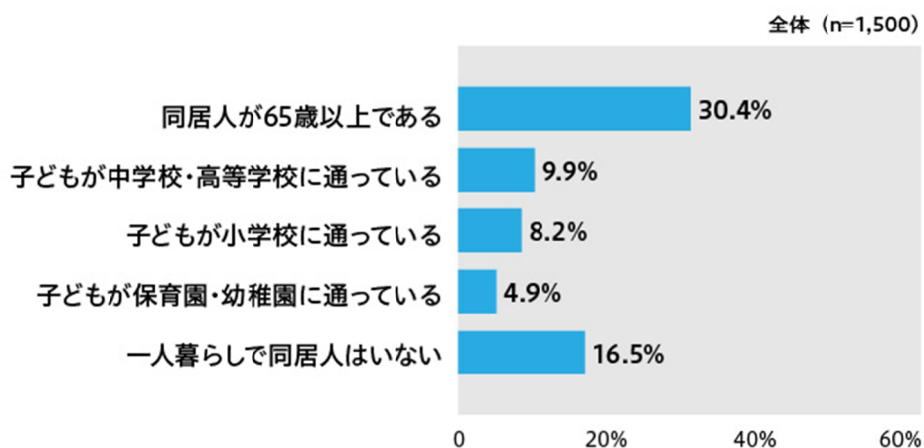
職業：公務員／会社員（事務などの内勤中心）、無職、専業主婦（主夫）の順に多かった。公務員／会社員（営業などの外勤中心）は 5.6% だった。

職業



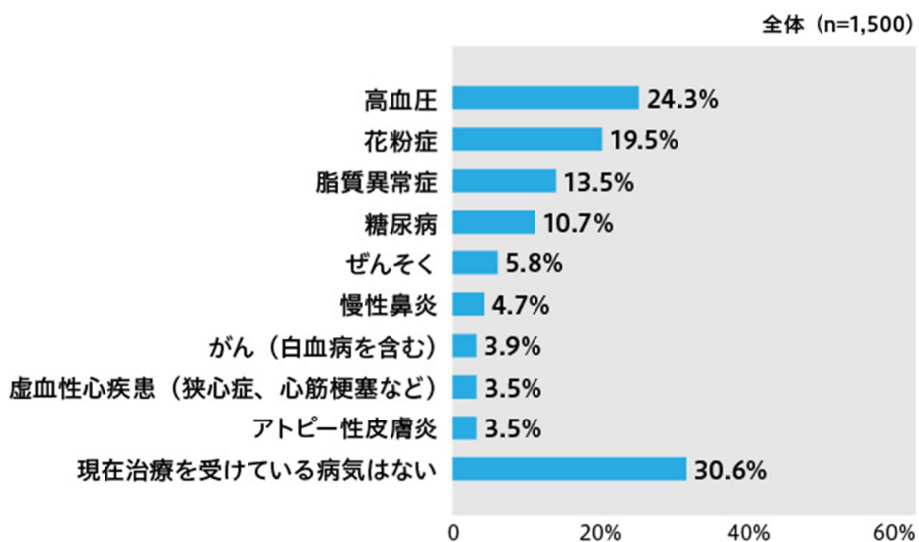
同居人（複数回答）：65歳以上の高齢者と同居している人は全体の30.4%（456）、全国的に休校となっている小学校に通う子どもと同居している人は8.2%（123）、同じく休校となっている中学校・高等学校に通う子どもと同居している人は9.9%（148）だった。

同居人



現在病院で治療を受けている病気（複数回答）：治療中の病気がない人は約3割で、約7割が何らかの病気で通院していた。多い順に、高血圧が24.3%（365）、花粉症が19.5%（292）、脂質異常症が13.5%（203）だった。

現在病院で治療を受けている病気

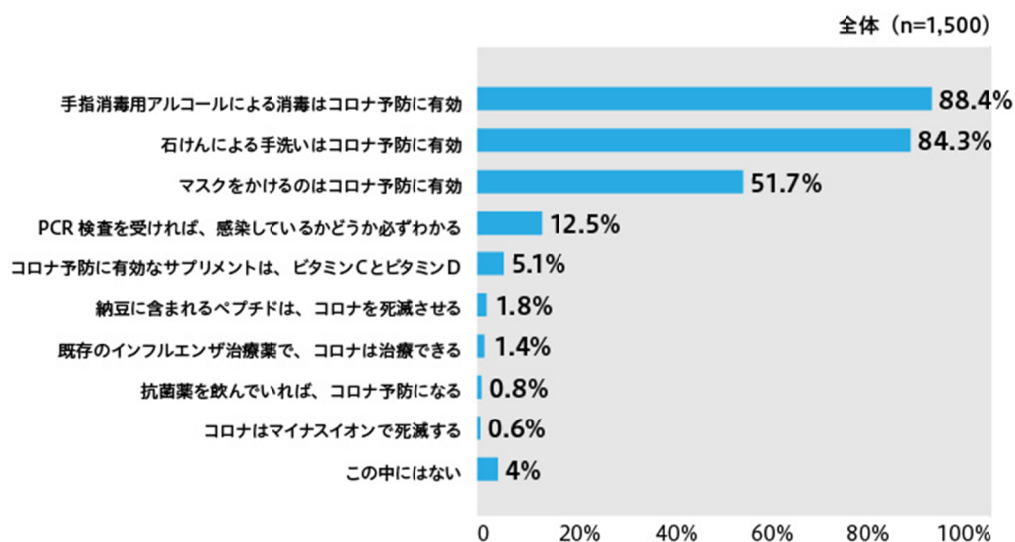


<日常生活におけるコロナの影響>

コロナについて正しいと思うもの（複数回答）：選択肢の中で、厚生労働省や世界保健機関（WHO）が、予防策として示しているのは、「手指消毒用アルコールによる消毒」と「石けんによる手洗い」のみ。この2つについては、8割以上が予防に有効と回答した。一方で、約半数が、「マスクをかけるのはコロナ予防に有効」と回答。厚生労働省は、マスク着用について、「混み合った場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられるが、屋外などでは、相当混み合っていない限り、マスクを着用することによる予防効果はあまり認められていない」としている。

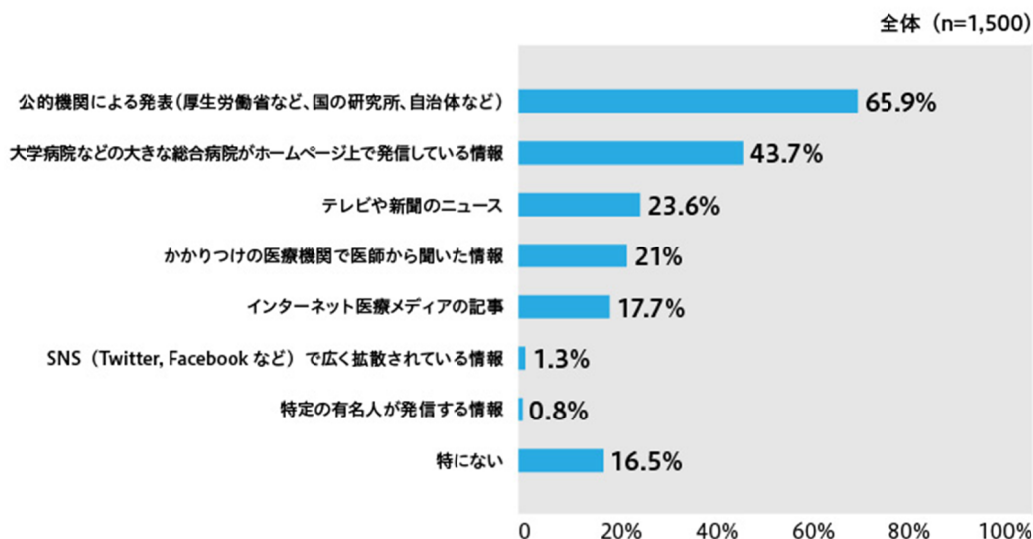
保険適用となった PCR 検査については、日々精度が向上しているものの、100%でない限り、検査で感染が「必ず」わかるとは言い切れない。

コロナについて正しいと思うもの



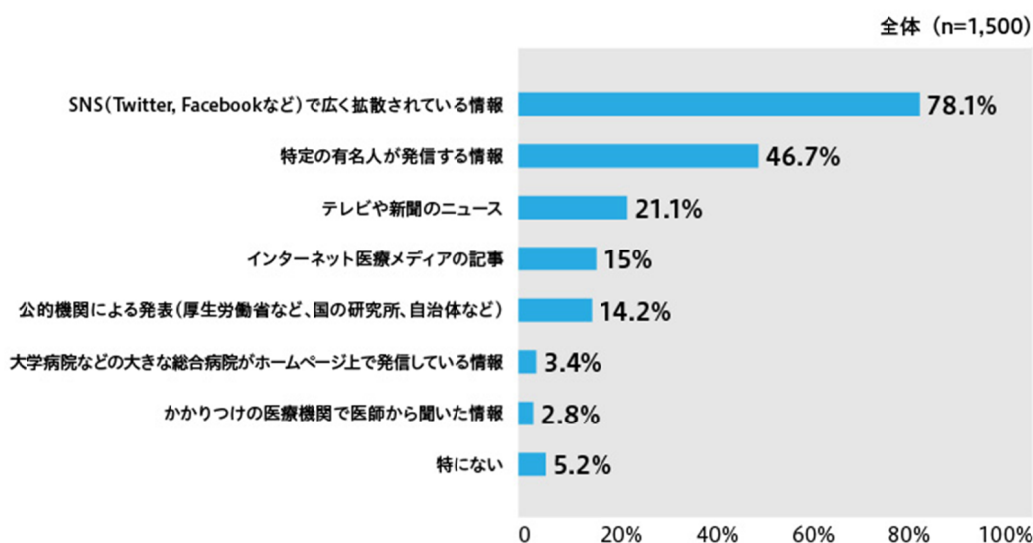
コロナについて信頼できると思う情報源（複数回答）：多い順に、「公的機関による発表」が 65.9%（988）、「総合病院がホームページ上で発信している情報」が 43.7%（655）、「テレビや新聞のニュース」が 23.6%（354）だった。また、「かかりつけの医療機関で医師から聞いた情報」という回答も 21%と高かった。

信頼できると思う情報源



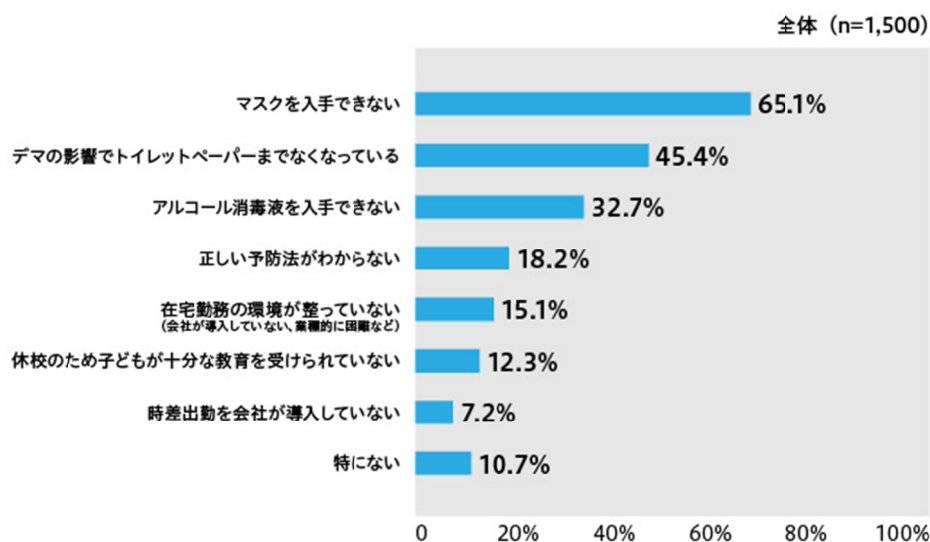
コロナに関して信頼できないと思う情報源（複数回答）：多い順に、「SNS で広く拡散されている情報」が78.1% (1,172)、「特定の有名人が発信する情報」が46.7% (701)、「テレビや新聞のニュース」が21.1% (317) だった。公的機関による発表は、前問で信頼できるという回答が最も多かった一方で、信頼できないとする回答も14.2% (213) と、1割を超えていた。テレビや新聞のニュースは、前問での「信頼できる」とする回答と、「信頼できない」とする回答が、ほぼ同数で、2割程度だった。

信頼できないと思う情報源

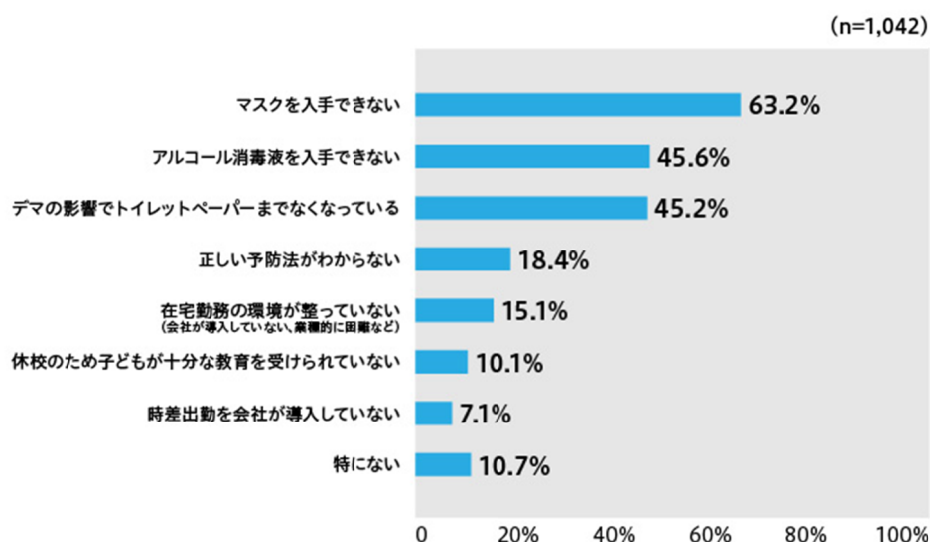


コロナの影響で今、困っていること（複数回答）：多い順に、「マスクを入手できない」が 61.5%（922）、「デマの影響でトイレトペーパーまでなくなっている」が 45.4%（681）、「アルコール消毒液を入手できない」が 32.7%（655）と、消耗品が入手できないという回答が上位となった。対象を通院者に絞った場合（「現在治療を受けている病気はない」を除く n=1,042）も、同様の傾向だった。

コロナの影響で困っていること（全体）

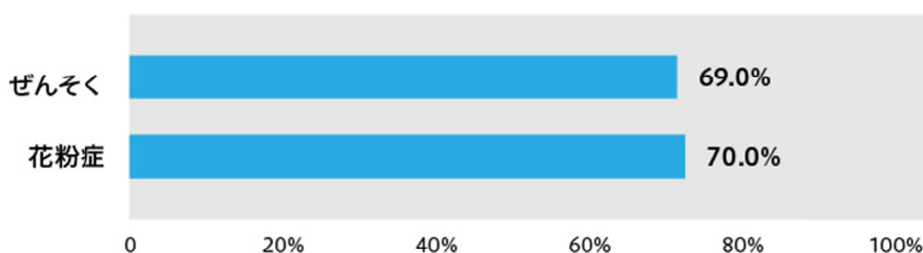


コロナの影響で困っていること（通院者）



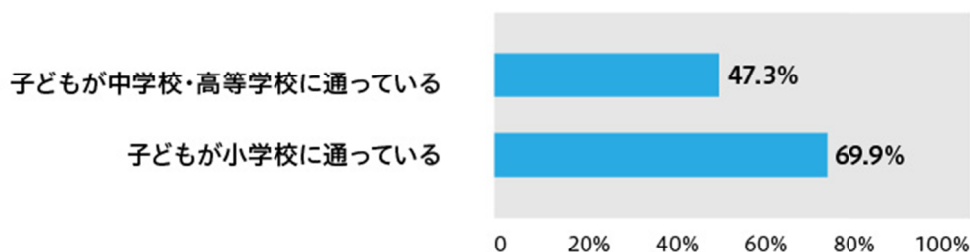
ぜんそくで通院中と回答した 87 人中 60 人 (69.0%) と、花粉症で通院中と回答した 293 人中 205 人 (70.0%) が、「マスクを入手できない」と回答していた。

ぜんそく、または花粉で通院者の中で 「マスクを入手できない」と回答した割合



また、子どもが中学校・高等学校に通っていると回答した 148 人中 70 人 (47.3%) と、子どもが小学校に通っていると回答した 123 人中 60 人 (69.9%) が、「休校のため子どもが十分な教育を受けられていない」と回答していた。

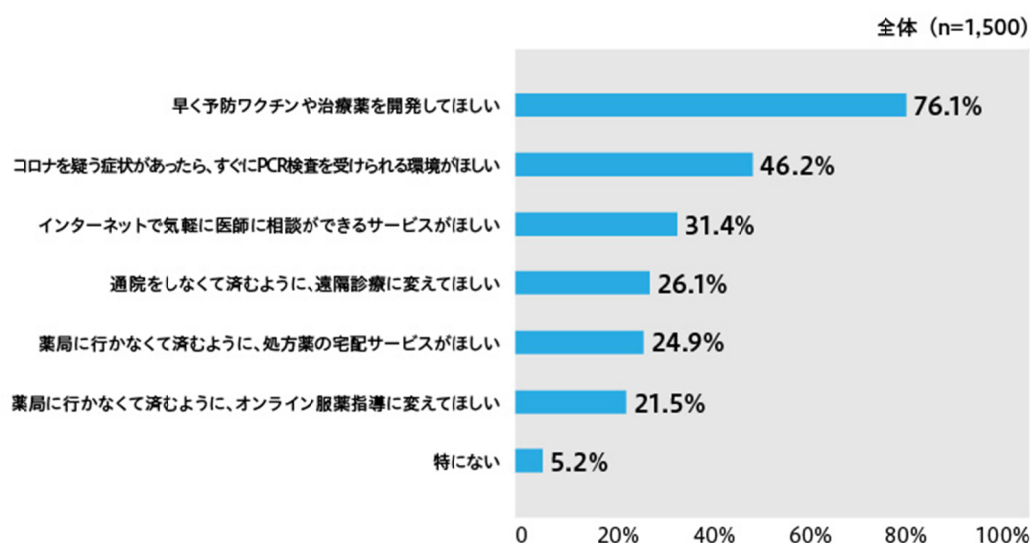
子どもが中学校・高等学校に通っている 子どもが小学校に通っていると回答した中で 「休校のため子どもが十分な教育を受けられていない」と回答した割合



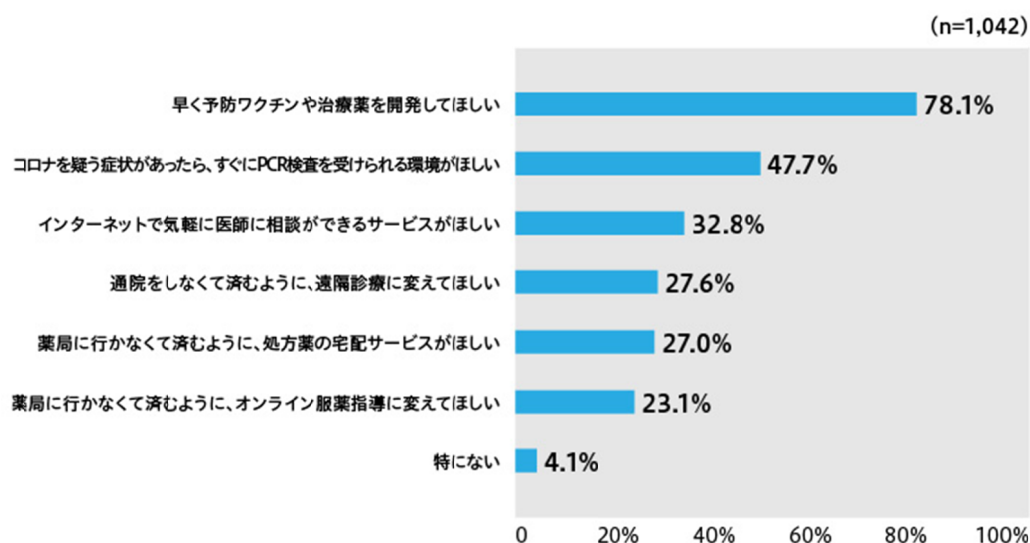
コロナが流行している今、医療に望むこと（複数回答）：多い順に、「早く予防ワクチンや治療薬を開発してほしい」が76.1%（1,141）、「コロナを疑う症状があったら、すぐにPCR検査を受けられる環境がほしい」が46.2%（693）、「インターネットで気軽に医師に相談できるサービスがほしい」が31.4%（471）だった。遠隔医療や、処方薬の宅配サービスを望む声も、4人に1人程度と多かった。

対象を通院者に絞った場合（「現在治療を受けている病気はない」を除く n=1,042）も、同様の傾向だった。

コロナが流行している今、医療に望むこと（全体）



コロナが流行している今、医療に望むこと（通院者）





【会社概要】

会社名：株式会社 QLife（キューライフ）

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-9 住友新虎ノ門ビル 7F

代表者：代表取締役 有瀬和徳 設立日：2006年（平成18年）11月17日

事業内容：健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業 URL：<http://www.qlife.co.jp>

お問い合わせ先：株式会社 QLife TEL：03-6860-5020／E-mail：info@qlife.co.jp